# ひかりの丘

第102号
2019.3.31
社会福祉法人 いわき福音協会
福島整肢療護園
〒970-8001
福島県いわき市平上平窪字
古館1番地の2
TEL.0246-25-8131
FAX.0246-22-1259
https://ryogoen.jp
E-mail.info@ryogoen.jp

絵本の読み聞かせ

ひまわりの苗植え

バスハイク

太鼓の達人

子猫といっしょに

アクアマリンふくしま

ハロウィン

七五三おめでとう

ご成人おめでとう

## 目次

2018年の療護園 —— 2〜3
大河内先生の想いをたどる… —— 4〜5
Happy通信 —— 6
りょうご園の段階食 —— 7
ご卒業おめでとうございます
〜BOYS, BE AMBITIOUS!〜 —— 8
りょうご園カフェへようこそ! —— 8

# 2018年の療護園

2018年、入園者さんはどのように過ごされたのか、ご紹介します。

## 春

社会交流
アクアマリン
ふくしま

ショッピング
CDショップ

イオン
いわき店

## 夏

洋服屋さんで
シャツを
選んでいます。

織姫と彦星

## 9月 ふれあい楽しい会

外来の患者さんとエデンの利用者さんと一緒に運動会を開きました。

# 秋

ハロウィン
パーティー

遠足で
海の生き物を
見に行きました。

買い物の後に
ひと休み

七五三の
お宮参り

お昼の給食
(七五三の日)

# 冬

クリスマス制作

障害者作品展
イオンモール
小名浜店

## 12月 クリスマス祝会

JRC部高校生がハンドベルや合唱、手遊びを披露してくれました。

療護園設立から
現在へと続く光の道

## 大河内先生の想いをたどる…

# 「子どもたちよ。私たちは、ことばや口先だけで愛することを行ないと真実をもって愛そうで

前回（ひかりの丘101号）は、療護園建設のため資金難に喘ぐ大河内先生のもとに、救世主のように現れたミス・ルーツとの心温まるエピソードをご紹介しました。

今回は、ようやく療護園開設にまでこぎ着けた大河内先生の当時の思いを知ることのできる文章を掲げます。

これを読むと、創業当時とは大きく様変わりしている部分と、解説から66年たっても変わらない思いもたくさんあるのだということを感じさせられます。

現在では使われなくなった表現もありますが、大河内先生の生きた言葉であると信じ、そのまま掲載させていただきます。

副園長　吉原　康

開園して八日目になってやっと一名の園児が入園した。早く仕事を始めたいとあせりながら入園を待っていた八日間のなんと長かったことか。なんの予備知識もなく、暗中模索していた職員の胸中は不安であったが、一日も早くと園児の来る日を待ちくたびれていた。

十月二十日、片麻痺の脳性麻痺の子が、鉄道員の制服を着た父に手をひかれて、びっこをひきながら丘の道を登ってくるのを見つけた鎌倉事務長が、頓狂な声をあげて、「入園の子が来たぞ」と叫ぶと、それッと廊下をいっ気に駆け出して全員が玄関に勢ぞろいしてしまった。「いらっしゃい！」とまるで高貴の来賓を迎えるように、全職員が頭を下げると、子どもとその父親はあっけにとられて、玄関に立ちすくんでしまった。

たった1人の入園者のために、その夜の料理は何にしようと、全員で評議したのは、今にすれば滑稽であるが懐かしい思い出である。二日おいて一人ずつ入園児があり、第一年度のクリスマスまでには十三名の入園児となった。

脳性麻痺　十名
ポリオ　一名
内反足　一名
骨髄炎　一名

医療器具は診療所程度に過ぎなかった。無影灯も手術台も古物であり、レントゲンはポータブルで代用していた。機能訓練室は、長さ五間、幅二間の中廊下をあてて、講堂兼用であった。訓練用具といっても大工に作らせた歩行用の梯子と輪投げ、ボールくらいしかなかった。機能訓練といっても、オイチーオイチ式の歩行練習がせいぜいのありさまであった。鉄製の寝台は一台もなく、木製のダブルベットに二人ずつ寝かせていた。下肢牽引となると鉄製の重錘のかわりに、石を包んだ袋をぶら下げた。このころは脳性麻痺の治療にはパンピングをしきりに実施して子どもたちを恐れさせた。術後吐いたり、頭痛を訴える子どもたちの枕辺を、おろおろしながら付き添っていた保母が、子どもが泣けば自分までもらい泣きをしている姿を見て、その純情に感動しながらも、職員養成の容易ならぬことを思った。

看護婦、保母、児童指導員は交替で炊事当番をやった。看護婦は、児童を連れて、裏山にたき木を拾いに出かけたり、茸やわらび、ぜんまい、栗、あけびなどをとってきては食膳をにぎわした。鎌倉事務長は小使いから医療助手にまでかり出された。山登りには、大きな子どもを背負ってあえぎあえぎ登った。途中、歌をうたい、疲れると草の上に寝ころんで子どもたちに囲まれながら、アンデルセンやグリムの童話を話した。現在のように医療器具、訓練用具の整った療護園に比べると、全く想像できない程貧弱ではあったが、職員と子どもたちの心の交流は、家族との生活にもなかった楽しい、うちとけた雰囲気があった。

夜、児童が就床してしまうと、私は

とをせず、
はありませんか。」

— 聖書　ヨハネの手紙第一　4:18 —

職員を集めてはお茶を飲みながら談話をした。それはそのまま職員会議であった。昼間の児童の行動が話題になれば、ただちにそれが討議され、取り扱いの工夫が中心になった。夜尿や、排便の出来ない子どものための議論は、四カ月もつづけられ、何回も便器を作りかえた。便器と便所について記述すれば優に一冊の著書ができるかも知れない。

看護婦と保母の分担は一応決めてあったが、実際は区別ができなかった。看護婦は保母の業務をやったり、機能訓練士を兼ねて、手術となれば手を洗って、医療助手にも早変わりした。八時間労働どころか、十二時間労働であった。

学校教育を施設内で行うたてまえになっていたが、いくら教員の派遣を順序を経て申請してもらちがあかなかったので児童指導員の山川ミサ子さんは、児童の生活指導をやりながら、小学一年から中学三年までの学習指導をやっていた。

今から考えると随分無理な仕事を職員たちにおしつけていたとあやまりたいくらいである。

「子どもを叱るようではまだ教育者として未熟だ。子どもの行動を理解せよ、観察せよ、叱る前に子どもの心の中に飛び込め、子どもに接触せよ」こんな言葉を何度私の口から吐き出したろう。ニイルの言葉やフレーベルの訓戒が私の療育指導の中に生かされていた。療護園の生活で大きな背景を作ってきたのはキリストの言葉であった。毎朝職員たちは聖書を輪読し、讃美歌をうたい、そして児童を愛するように祈り続けてきた。

教育を私たちの手でやろうと決心したがゆえに、職員は全部先生と呼ぶようにした。これは今日でも続いている。児童たちと生活し、児童たちの保護者であり指導者であるためには先生と尊敬されてはじめて教育ができると私は考えていたからだ。

しかし十二年のあいだには、先生と呼ばれるにふさわしくない職員も何人かあった。医師、児童指導員、教諭以外は先生の呼称はやめようとしたときがあったが、結局従来どおりになったのは、職員の良識の反省からであったろう。

掃除雑用の職員にいたるまで先生と呼んでいるのには理由がある。すなわち日曜には全職員が当番で日曜学校の教師として教壇に立つからである。日曜の朝は、魂の授業があるからだ。

療護園の教育は、学校教育で行ない得ない魂の教育からはじまった。これは世人の一部からミッションスクールのように誤解されているが、形は似ていても人間教育をしようとすれば、魂の教育からはじめざるを得ないからである。

療護園はどの教団、どの教会にも所属していない。『汝の隣人を愛せよ』の聖句を実践しようとして設立されたことを初代の職員はすべて銘記していた。

療護園を訪れた外人の数は記憶しきれない。開園して間もなくフィンランドのミス・ニエミは園舎の中で自炊しながら、園児たちと一週間寝食をともにした。敬虔にして柔和な品格がおのずと職員や児童たちに与えた影響は大きかった。

フレンドのニコルソン夫妻は職員や児童たちと旧知のように親しみながらも、愛を、彼自らが行いを以て示してくれた。ミス・フェンソムは表面にたたないで、いつも療護園のために祈っていた。アメリカンスクールの女教師ミス・ストーリーとミス・ルートは児童に飛行機を見せてやりたいと、アメリカ空軍を説いて、療護園の庭にヘリコプターを降下させた。報いを求めず、肢体不自由児の友として善意を示してくれた外人と接しているあいだに、自然に育まれたのは国際的作法を身につけて来た子どもたちの姿だった。

「世界の子どもはお友だち」とうたう園歌の一つは特別な集まりには必ずうたわれた。

『世界人を友として』は、けっして私たちの誇大妄想ではなかった。

児童指導員のみで、義務教育を担当することの重荷は当然であり、不完全であることは明白であった。私は再三、平市長を訪れ、県教育委員会に交渉して、やっと教員の派遣があったのは昭和二十八年九月一日であった。一名の教員が赴任して、変則ではあるが、複々式授業が始まった。

開園後二年目にして教諭はやっと二名になった。

出典『光の丘の子どもたち』

# Happy通信

## もも部屋の個性光る入園者さん

ひかり館・もも部屋の個性光る入園者さんをご紹介します。
のりおさん、せいいちさん、よしてるさん、よしみさんの男性4名がルームメイトとして一緒に過ごされています。

のりおさん

せいいちさん

よしてるさん

よしみさん

### のりおさん

のりおさんは、この部屋の最年長。
もも部屋のリーダーのような存在です。
のりおさんは、ささやかな出来事にもいつも笑顔で応えてくれます。大きな体に相応しい豪快なその笑顔を見ると、周りの人たちも思わず笑顔になります。

### せいいちさん

せいいちさんは、とても穏やかな方ですが、好奇心が強いです。
戸外を散歩していると、移り変わる景色に視線を動かして関心を寄せます。また、動画共有サービスYouTubeでミュージックビデオを観るのが好きです。
そんな誠一さんは、もも部屋のみんなをいつも優しく見守っています。

### よしてるさん

よしてるさんは、音楽が大好きです。
童謡やポップス、ジャズ、クラシックなど様々な音楽を聴きます。ミュウクラブ(日中活動)では、よしてるさんの愉快な歌声が響きます。もも部屋のムードメーカーです。

### よしみさん

よしみさんの趣味は、DVD鑑賞。
ポータブルプレイヤーを使用して観ています。映画やアニメなどの作品を楽しまれています。
いつもクールな印象のよしみさんですが、DVDを観ている眼差しは熱いです。

ご紹介した、もも部屋のルームメイト4名。
これからもみんな仲良く、好きなことを通してハッピーな気分になってほしいです。

# りょうご園の段階食

## サラダの場合

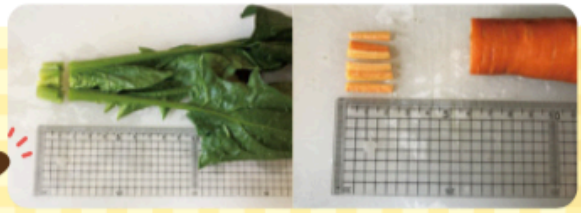
段階食のポイントは【大きさ・軟らかさ・まとまり】の３要素がうまく調和できる事です。サラダの場合は、マヨネーズやドレッシングで【まとまり】を持たせています。

## 野菜の切り方

やわらか食以下のきゅうりはピーラーで皮を剥き、やわらかく茹でます。
トマトは皮を湯剥きします。

## お浸しの場合

青菜は１㎝、人参は２㎝くらいの長さに切ります。
ゆで時間は、普通食でも一般のレシピよりは長めに、やわらか食以下は更に長く茹でます。
（指で押して、茎の部分が容易につぶれるくらいが目安です。）
きのこなど、茹でてもやわらかくならない食品は茹でてからフードプロセッサーで細かくします。
醤油やおかかで味を調えます。やわらか食には、薄い醤油味のトロミをかけます。
押しつぶし・ペースト食は味付けしたやわらか食を更にフードプロセッサーやミルサーにかけ、それぞれの形態に整えます。青菜は味付けしてからミルサーなどにかけた方が、青臭さが抑えられるようです。この際、トロミ調整剤を少量加えると離水を防ぎ、まとまりよく滑らかに仕上がります。



## 味の工夫

青菜は、おかか以外にも、焼きのりやしらす干し、味付けなめ茸、マグロフレーク缶等と合わせても簡単においしくアレンジできます。

# ニューフェイス紹介 new face

新たなスタッフ共々、今後ともよろしくおねがいします!!

**岩間（いわま） 芳江（よしえ）** H30.4

1日も早く仕事に慣れ、頑張りたいと思いますのでよろしくお願い致します。

看護部
看護師
趣味/ライブ鑑賞、映画鑑賞

**伊藤（いとう） 颯（そう）** H30.4

はじめまして。理学療法士の伊藤です。まだ分からないことも多いですが、精一杯努力しますので、ご指導宜しくお願いいたします。

リハビリテーション部
理学療法士
趣味/フットサル、スポーツ鑑賞（特にサッカー）

**佐藤（さとう） 峻寿（しゅんじ）** H30.4

4月から療護園で勤務しています。まだまだ未熟な点ばかりと思いますが、一所懸命頑張りますので、ご指導宜しくお願いします。

リハビリテーション部
作業療法士
趣味/ピアノ（最近は、ほとんど聴く専門です）、手話

**菅波（すがなみ） 里美（さとみ）** H30.10

STとしてもまだまだ経験が浅いですが、一生懸命頑張ります。よろしくお願い致します。

リハビリテーション部
言語聴覚士
趣味/読書、ミュージカル鑑賞

# ご卒業おめでとうございます
## ～BOYS, BE AMBITIOUS!～

この春、特別支援学校高等部を卒業し、療護園を旅立つ高橋信也君。
卒園後は、隣県の多機能型事業所（生活介護・就労継続支援B型）に通う予定です。
信也君は小学一年生、6才の時に療護園へ入園しました。それから約12年間を療護園で過ごしてきました。そんな信也君に療護園の思い出についてインタビューしました。

**Q** りょうご園での１番の思い出は？
**A** リハビリ訓練が楽しかったから頑張れた！

**Q** りょうご園の食事で好きなメニューは？
**A** からあげ

**Q** 学校生活の思い出は？
**A** 美術の授業が楽しかった（先生が美人だから）

**Q** これから頑張りたいこと
**A** 新しい事業所での生活を頑張りたい。

**Q** りょうご園のみんなへ一言お願いします。
**A** 園長先生へ→時々、仮病を使いました。ごめんなさい（笑）
病棟スタッフへ→今までありがとうございました。
わがまま言いましたが楽しい毎日でした。
訓練スタッフへ→訓練がない時も勝手に行ってごめんなさい。
訓練が楽しかったから♪
病棟のお友達へ→ボクみたいにわがまま言っちゃダメだよ！
みんな、元気でね（^_^）/~

終始、笑顔でインタビューに応えていた信也君。新生活への期待とやる気が感じられました。

**信也君のお母さんからコメントをいただきました。**
「小学校入学からの１２年間、長い間、泣いたり怒ったりしながらも『自分の為』とよく頑張ってくれました。たくさんのお友達や職員の方に関わり、家では経験できない事もたくさんできました。退園後は、自宅での生活になりますが、これからも周りの人への感謝の気持ちを忘れず過ごしてください。」

**自己紹介**
■趣味/プロレス観戦　YouTube
■好きな有名人/ガッキー（新垣結衣）ジャッキー・チェン
■好きなテレビ番組/「美の巨人たち」「充電させてもらえませんか？」

思いやり深く優しい信也君。入園者さんやスタッフも信也君と楽しい思い出をたくさん作ることが出来ました。
信也君、ありがとう。入園者さん・スタッフ一同、信也君とご家族の新しい生活に幸運をお祈りしています。
いつでも療護園に遊びに来て下さい。お待ちしています。

スタッフ通信
りょうご園カフェへようこそ！

このコーナーでは、当園のスタッフが好きなこと、気になることなどなどを自由におしゃべりします。スタッフの新たな一面がわかるかも！

第15回は、作業療法士の佐藤峻寿さんです。

## ピアノが続けられた理由

僕はピアノが好きです。最近はもっぱら聴く専門で、クラシックやj-popのアレンジ等をyoutubeで漁っては、お気に入りをリピート再生。嫌いな洗濯物や部屋の片付けのお供にしています。

高校３年生まで習って弾けていた曲のほとんどは、大学の一人暮らしをきっかけに忘れてしまいました。また弾きたいなぁ、電子ピアノ買いたいなぁと思いつつ、日頃の無駄遣いのせいでピアノ貯金がなかなか貯まらない状態で、大学時代からの悩みの１つです。

消極的な自分がこれだけ今もピアノを好きでいられるのも、ピアノの先生がちょっと変わった先生だったからだと思います。というのも、普段はピアノ講師である傍ら、養護教諭でもある先生は他の先生とは少し違った教育方針をしていました。多くのちびっ子ピアニスト達がコンクール等に出場して、競い合い技術を高めている頃、僕らの先生は「この曲を聴いて自由に絵を描いてみようか」とか童謡にあわせてお手玉や毬つきで遊ぼうかとか、そんなことを言う先生でした。そんな風に遊びの中で音楽を学んできたので、ピアノも嫌いにはならなかったし、先生とも何でも相談できる信頼関係がいまだに続いているのだと思います。

立場、職種は違いますが、今では自分が子供に何かを教える立場です。まだまだ、知識も技術も伴わない半人前ですが、いつか自分も子供の「やりたい」が引き出せる、そんなリハビリができるようになりたいなと思います。

## 編集後記

人生山あり谷あり、楽しいことも辛いことも沢山あります。
私の好きな歌の歌詞に
「pretend to be happy when you are blue」
という詞があります。
意味は「辛い時ほど朗らかに」。
落ち込む事があっても、この言葉を思い出して笑顔でいるように心掛けています。
これからもこの言葉を胸に、辛い時があっても常に笑顔で乗り切って行こうと思っています。（ひ）

## 寄附者ご芳名（平成30年度）

ご支援をいただきました皆様へ、深く感謝を申し上げます。

○高岡　忠
○宮嶋　華代子
○宗像　光一
○中野　守雄
○(株)マルト
○早坂　光枝
○光の丘OB会
○藁谷　司
○渡辺　コウ子
○磐城共立高等看護学院自治会
○遠藤歯科クリニック
○(有)猪狩電気工事
○太丸屋三延(株)
○日本出版販売(株)
○日本児童図書出版協会
○いわきライオンズクラブ
○服部　芳裕
○片倉　直美
○坂本　正一郎
○山崎製パン従業員組合松戸支部
○太誠産業(株)
○片倉　喜久雄
○(学)相双キリスト教学園
○ニッティングルームヒロコ
○タンプールパリ
○常磐共同ガス(株)
○(公)ベルマーク教育助成財団

（順不同・敬称略）